



設立25周年
記念号

発行/2018年9月17日
グリーンコープひろしま理事会
広島市安佐南区緑井1-28-47
TEL(082)831-1503 FAX(082)870-1800
web...<http://www.greencoop-hiroshima.or.jp/>
組合員数 20,438 人
出資金積立金総額 972,731,619円(7/20現在)

ずっと安心・安全・おいしいを届けるけん。
グリーンコープひろしまは25周年



西日本豪雨により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。
今後も、被災された皆様に寄り添った支援を続けていきます。

グリーンコープひろしま生活協同組合設立趣意書

安心できる食べものを手にいれたくて、私たちが小さな共同購入を始めたのは六年前のことでした。添加物に頼った加工食品、薬づけの野菜、安全性を確かめようがない輸入食品など、経済効率のみを優先する風潮のなかで、命を育むはずの食べものが逆に命を脅かしている——多くの人が感じている不安を私たちもまた痛切に感じたからです。

食べものは食べものの本来の姿であってほしいと、私たちは化学調味料などの食品添加物を使わない食品やパステライズ牛乳、そして国内産小麦粉のパン・お菓子などを次々に開発して共同購入し、有機・無(減)農薬による野菜・米の産直活動などにも取り組んできました。さらに九州・山口のグリーンコープの仲間と連帯できたことは運動の視野を広げるという点だけではなく、商品の質と種類の充実のためにも大きな意味を持ちました。

幸いにして、この運動は多くの人の共感を得ることができ、いつの間にか仲間は1,000人を越えて、地域も大竹市から広島市の西部にまで広がりました。

安全な食べものを求めることは、いのちとくらしを守ることにそのままつながります。運動をすすめるにつれて多くの問題が見えてきました。農薬は食べものだけでなく、土と水と空気を汚すこと、合成洗剤は水の大きな汚染源であること、使い捨て文化が深刻なゴミ問題を引き起こしていること、などです。チェルノブイリ原発事故により世界中が放射能で汚染されたときには無農薬・無添加を追求するだけではもはや安全な食べものを手にすることができないことを思い知りました。ついで原発事故以前にも度重なる核実験で地球が放射能で汚染されていたことも知りました。

さらに地球全体の複合的な環境汚染、人類の一部による資源・エネルギーの浪費とその裏側にある飢餓問題、そしてそういう問題に必死で取り組む人々の努力もすべて台無しにしてしまう恐ろしい戦争、それらがみな新聞・テレビのなかの話ではなく、私たちの生きかたそのものが大きく関わっている問題であることも分かってきました。

この六年間、私たちは共同購入のなかで、またそれと並行していろいろなことに取り組んできました。グリーンコープの仲間とともに取り組んだ牛乳パックのリサイクル、空ビンの回収、プラスチック容器の排除、貧困と飢餓に苦しみながら自立をめざしている第三世界の人たちとの連帯活動としてフィリピン・ネグロス島との民衆貿易(バナナ・砂糖)、また脱原発運動や廿日市の農薬空中散布反対運動などの市民運動への協力、これらはみな私たちのいのちとくらしを守っていきたいという気持ちのあらわれです。

私たちのこうした活動が広がり、またその基本としてどのようなことを考えなければいけないかが見えてきた今、私たちは生活協同組合を設立したいと考えています。そして生協という場に多くの人が集まり、いのち・自然・くらしを守る運動がさらに広がることを願っています。

何卒、この趣旨をご理解下さり、私たちの生協設立にひとりでも多くの方の御賛同をいただけますよう心からお願い申し上げます。

1991年4月25日

グリーンコープひろしま生活協同組合設立発起人会

* グリーンコープ生活協同組合ひろしま(現在の名称)は、当初「グリーンコープひろしま生活協同組合」として設立を目指しましたが、県内他生協の名称との違いを明確にするという目的で、グリーンコープひろしま西部生活協同組合という名称として認可を受けました。その後、2003年に現在の名称に改名しました。

グリーンコープひろしま25周年に寄せて

グリーンコープ共同体 代表理事
グリーンコープひろしま 理事長 熊野 千恵美

私は、グリーンコープの牛乳が今のリユースびんに切り替わった2003年に、友人から「産直びん牛乳」をすすめられて組合員になりました。

グリーンコープのカタログには市販にはないものばかりが載っており、いろんな情報も詰まっています。たくさんの気付きがありました。産直青果のページでは、農薬の使用に対するグリーンコープの姿勢が伝わってきました。無農薬、減農薬マークを見ながら野菜を選ぶなんて！と感動し、旬を感じる果物によって我が家の日々の『食』は、より豊かになりました。産直びん牛乳のページでは、『すべてnon-GMO飼料を与えた母牛から搾った生乳を使用』とあり、「non-GMOってなに？」と疑問が芽生え、練り製品のコーナーでは「グリーンコープのすり身は無リンってことは、市販はどうなってるん？」と驚き、食や暮らしにつながる大切なことをあまり知らないのではないかと感じたことをきっかけに、地区委員になりました。

地区委員会活動では、本当にいろんなことを知ることができました。組合員になってすぐに地区委員になった私からすれば、先輩組合員である地区委員のみなさんは『グリーンコープな人たち』で、輸入牛に使われている成長ホルモンが子どもの成長に影響するらしいとか、いろんな情報を聞くことができましたし、家の中の「洗う」をまるごとせっけんにしている組合員さんにも出会いました。月々の電気代が300円台という組合員さんもおられました。思わず「どこの電力会社？」と聞いたぐらいです。とにかく徹底した節電なのですが、悲壮感はなく、むしろ楽しんでいることに「こんな暮らし方があるんだ！」という、自分の生活を省みるヒントになりました。行事の企画も毎回楽しみでした。出会う人たちはみんな食べることが大好きで、カタログをみながら、「美味しいと思ったものがあると、つい同じものばかり買ってしまふのよね。」「そうそう。じゃあ、おすすめの商品は何？」「私のおすすめはこれ！」「この前買ったこれ、美味しかった！」など会話も盛り上がりました。食品添加物の話で盛り上げられるのも、きっと組合員同士だからだと思います。

グリーンコープと出会い、グリーンコープに集う人たちとの出会いから、「何を選んでいくのか、どんな暮らしをしていきたいのか、どう生きたいか。」を考えるようになりました。

グリーンコープひろしまの25年の歩みの中で、食べもの運動から始まった様々な運動や取り組みは、脱原発社会の実現に向かう『グリーンコープでんき』の共同購入にまで広がっています。

根底にあるのは、『子どもたち、家族の健康を思う気持ち、子どもたちの未来が安心して暮らせる未来であることへの願い』だと思うのです。何を選んでいくのかは、その根底にある思いを大切にすることとつながっていると思います。

10年後、20年後、そしてもっと先まで、グリーンコープひろしまの未来を描いていくのは組合員である私たちです！これからも共に歩んでいき、もっともっとグリーンコープへの共感を広げていきましょう！

グリーンコープひろしま 副理事長 反岡 佐千代

結婚して広島に住みはじめて数年。お友達に誘われるままにグリーンコープに加入しました。長男も幼稚園に入園し自分の世界を広げつつあり、私自身そろそろ外に出たいと思っていたころ、カタログの中にあったチラシが気になりました。そこには、「地区委員募集」「託児あります」「場所は…うちのすぐ近くの公民館」などとあり、娘の手を引き、出かけて行きました。そこには「絶対に良い人に違いない」という感じのメンバーが数人おられ、牛乳やせっけんのことなどの話題で盛り上がっていました。楽しそうだった私は、月に1回の会議に参加するようになりました。

そこにいたのは、みんな主婦であり、お母さんでした。お母さん達は、子どもや家族に食べさせたいものを求めています。「美味しい」はもちろん、安心・安全な食べものが欲しいと願っています。そんな私たちが地区委員会で話をした「こんな商品あったらいいな」という素直な願いが、メーカー・生産者に届き、商品に反映されています。うれしくなった私達たちは、より良いものを求めて会話をし、その願いはメーカー・生産者へ。そんな繰り返しでグリーンコープの自慢の商品をつくり出してきました。私たちの声がかたちになる、そんな喜びも原動力になり、グリーンコープは広がってきたのだと思います。

今年、グリーンコープひろしまは25周年を迎えました。積み重ねてきた日々は、多くの組合員のみなさんに支えられてきた時間だと思います。この25年で組合員数は増え、配送地域も広がっています。組合員みんなの力で、グリーンコープはもっともっと仲間が増えると思います。組合員みんなで力を合わせてグリーンコープを育てていきましょう。

グリーンコープひろしま 25年間の事業の様子

ひろしま中央支部

〒731-0103
広島市安佐南区緑井1-28-47



キープ&ショップぐりんまま



キープ&ショップ きんさいぐり〜ん 三次市十日市中2-1-31



ひろしま西支部

〒738-0022 廿日市市木材港南7-55



東広島支部

〒739-2628
東広島市黒瀬樫原東2-22-1



キープ&ショップほっとるーむ くろグリ



供給高

- ◎生協設立初年度1993年度の共同購入の供給高は4億2,263万円でした。
- ◎5年後の1998年度には10億を、9年後の2002年度には20億を越えました。
- ◎2017年度の年間供給高は35億2,120万円と25年で8.3倍に増えました。

出資金額

- ◎生協設立1993年度末の出資金は3,339万円でした。
- ◎5年後の1998年度には1億を15年後の2008年には5億を超えました。
- ◎2017年度の出資金は9億6,505万円と28.9倍となりました。

組合員数

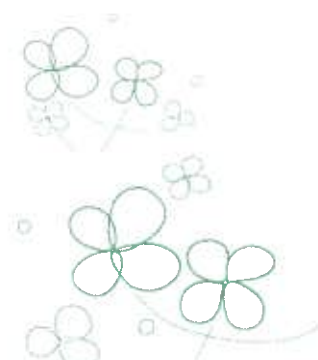
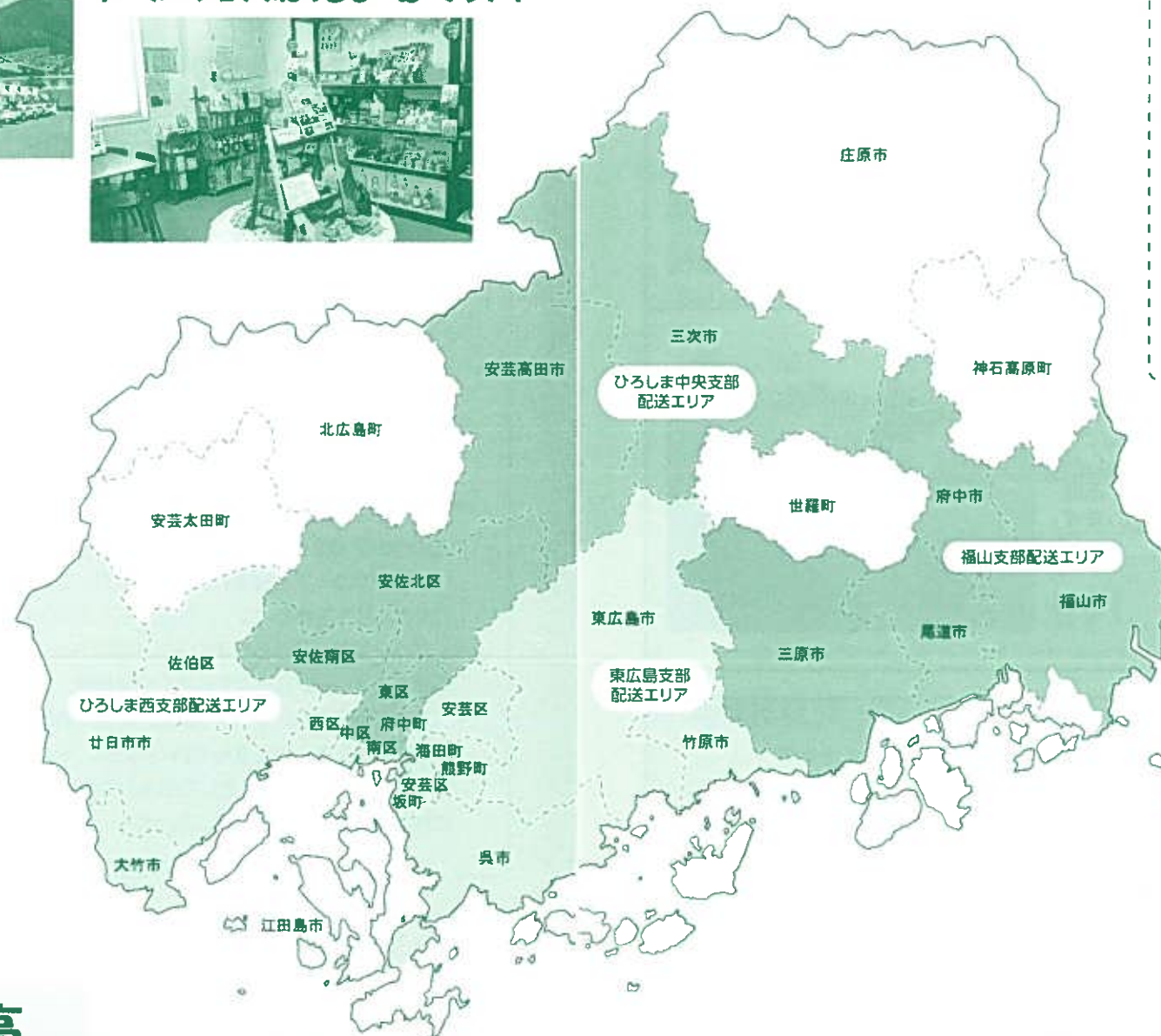
- ◎生協設立の1993年は組合員数2,941人でした。
- ◎7年後の2000年に組合員数が1万人を突破し、2009年には2万人を突破しました。
- ◎その後一度2万人を割り込みましたが、2017年度末は20,275人となり、25年で6.9倍となりました。

福山支部

〒721-0973 福山市南蔵王町4-2-15



キープ&ショップげんキープ



グリーンコープひろしまの主な活動

生命（いのち）を育む食べもの運動

生産者交流会

グリーンコープは、生産者・メーカーの方と組合員の『顔の見える関係』を大切にしています。通隔地の産地に出向いたり、生産者をひろしまにお招きし、交流しています。



学習会

生産者やメーカーの方をお招きして直接お話を聞き、グリーンコープ商品の良さを学んでいます。



遺伝子組み換え

海外から輸入されたGMナタネは、輸送途中にこぼれ落ち、水揚げ港や、製油工場へ通じる幹線道路沿いで発見されています。広島でも自発的に調査を行なっています。（広島では今の所、発見されていません）調査活動の他、不定期で学習会も行なっています。



工場・産地見学

収穫体験をしたり、工場の見学をしたり、顔の見える関係を築いています。



「いのち・自然・くらし」を守る取り組み

せっけん

人や環境にも優しいせっけんの良さや使い方を学習会などで伝えています。



脱原発

チェルノブイリ原発事故以降「生命と原発は共存できない」という理念のもと、組合員のできる脱原発運動を行なってきました。2011年の東京電力福島第一原発事故が起こり、その想いをさらに強くしています。脱原発について学び、学習会や映画上映などを行なっています。



平和

原爆の投下という辛い体験をした広島。『平和』は、私たちの永遠の願いです。まずは、「学ぶ」ことを大切にしています。



グリーンコープでんき

「自分たちの使う電気は自分たちでつくり出す」という、より具体的に原発のない社会の実現に向けて進み出した私たち。ひろしまの組合員の皆さんに「グリーンコープでんき」について知っていただきと思い、『市民発電所プロジェクト通信』を発行しています。また、行事等で「グリーン電力出資金」についても伝えています。



身近な地域での活動

地区委員会

4支部に合計15の地区委員会があり、各地で活発に活動しています。

西支部

・西部
・中部
・東部
・南部

中央支部

・中部
・東部
・南部
・北部
・備北

東広島支部

・南部
・北部
・西部

福山支部

・西部
・北部
・東部

子育て応援の取り組み

子育て応援の一環として、学習会や講演会、子ども料理教室などを開催しています。また各地に子育てサークルがあります。



Welcomeカフェ

グリーンコープ商品の良さを伝えたいという想いから、新規組合員対象の行事を各支部で開催しています。



キープ&ショップ

中央支部、東広島支部、福山支部に併設のキープ&ショップがあります。地域展開型のキープ&ショップもあります。



助け合い、支え合い、誰もが安心して暮らせる地域づくり

地域福祉

「住んでる街を住みたい街に」赤ちゃんからお年寄りまで、誰もが安心して暮らせる地域を目指して取り組んでいます。



福祉活動組合員基金

地域福祉の思いをカタチにするための財源として、組合員一人ひとりが毎月100円を出し合い、福祉活動の財源としています。2～3月に各支部で行なう「助成団体報告会（みんなの福祉交流会）」は、多くの地域団体と出会い、その活動について知る、貴重な場となっています。



ファイバーリサイクル

国境を越えた子育て支援として、ファイバーリサイクルに取り組んでいます。生活困窮者の就労支援にもなっています。



家計と暮らしの応援

FP円縁を講師に、学習会を各地で行なっています。また、家計簿クラブを各支部で立ち上げています。各クラブ、活発に活動されています。



グリーンコープひろしまの活動に関わってきた先輩組合員の皆さんに心に残る思い出を聞いてみました♪

生産者・メーカーとの交流

一番印象深い交流は“ネグロスセミナー”です。ネグロスの人々が飢餓に陥り、支援をすることになった時、グリーンコープがどんなことを考え、どんな風に支援してきたかの物語は、本当に感動するお話でした。

講師の大橋成子さんのお話は、とてもわかりやすく、単に食糧や物資を届ける支援ではなく、『魚ではなく魚を捕る網が必要』ということで、自立のための経済づくりを考え、それを少しずつカタチにしてきた様子がよくわかりました。

現在、ネグロスバナナはカタログで注文すると翌週届くことが当たり前となっていますが、それまでの様子がわかると、感謝の気持ちでいっぱいとなりました。



子育てサークル

わが家には4年生と1年生の姉妹がいます。二人とも、グリーンコープの子育てサークル「ちゃんこ」でお世話になりました。

活動の中で一番の思い出は、西条農業高校の市民農園をサークルで借りて、子ども達と一緒にサツマイモを育てたことです。畑を耕し畝を作り苗を植えるところから始まり、夏の草抜き、水やり。そして秋の大収穫！収穫したサツマイモを使ったクッキング！収穫まではお手が無事育っているかとても不安でしたが、立派なお芋を見て歓声が上がり、その後、サツマイモたっぷりの豚汁やサツマイモご飯！みんなでおいしくいただきました。

たくさんの仲間とも出会い、子育ての時間を共有できて、親子で楽しい思い出を作ることができました。

グリーンコープが応援してくれる子育てサークルに感謝しています。



産直びん牛乳

2003年、経済効率優先の「商品」ではなく、いのちを育む「食べもの」を！！というグリーンコープの願いが詰まった『産直びん牛乳』を開発することになりました。私がグリーンコープひろしまに加入したのは24年前のことでしたが、その頃は紙パックの牛乳でした。もともと、non-GMOの飼料やバスターライズ殺菌といったこだわりのある牛乳だし、美味しいなと思って購入していましたが、『産直びん牛乳』を開発し、専用の工場まで作ると聞いて、グリーンコープってそんなことまでできちゃうんだ！とびっくりしました。

組合員に出資金を募り、工場ができ、その見学に行ったことは本当に思い出深いです。牛乳のタンクに元気くんのイラストがあり、自分たちの工場ができただな～と感動しました。そして、最初にびんに入った牛乳が届いた日、その美味しい味にさらに感動でした。

息子もグリーンコープの牛乳が大好きで、グリーンコープの牛乳が無い時に、こっそり市販の牛乳を出すと“これは違う！”と怒られたり、我が家になくてもならない“産直びん牛乳”です♪



キープ&ショップ

理事になって2年目、『中央支部理事長』という役割を引き受けました。私に務まるのか、かなりドキドキしていたことを覚えています。

そんな時にグリーンコープひろしまではじめて『キープ&ショップ』を中央支部に立ち上げる事になり、地区委員や地域の組合員の方も巻き込んで、小さなことから検討し、決めていきました。活動組合員の仲間とともに古ぼけた棚にペンキを塗ったり、カーテンの色を決めたり、地域組合員にキープ&ショップの名称を応募して決めたり…。「キープ&ショップを地域に根ざした組合員の集える場にしたい」とみんなで奮闘しました。

そんな“キープ&ショップぐりーんま”も6年目を迎えました。これからも地域の組合員の皆さんに愛されるよう願ってやみません。



100円基金(福祉活動組合員基金)

ひろしまで100円基金に取り組もうと検討が始まったのは2002年でした。100円基金を設置されていた他単協に学び、福祉の取り組みについて自分自身に引き寄せて考えました。

福祉の取り組みを組合員の方に伝えるやり取りの中で、必要だと共感するご意見や厳しいご意見など、様々な声を頂きました。100円基金の設置にあたって、組合員の皆さんには丁寧伝えていく必要性を感じました。

「福祉は誰か特別な人の為にあるのではなく、それぞれの人に必要で身近なものとして考えて頂けるように伝えたい」と、『私たちの暮らしを考えてみませんか?』というタイトルのチラシを7回発行し、組合員の皆さんとのやり取りを行なった事が懐かしく思い出されます。

現在は、すっかり『100円基金』がひろしまに根付き、様々な地域福祉に活かされていることを感じます。これからもますます地域福祉の広がり役立つことを願っています。



100円基金マスコットキャラクター
たすけくん

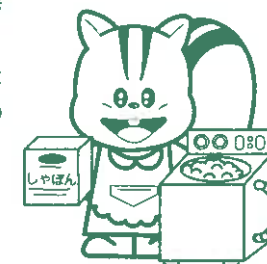
せっけん

『お洗濯にせっけん使ってる?』そんな風に質問されても、私にとって“お洗濯”はCMでよく見かける箱に入った粉状のものであるもの、“せっけん”とは手洗いやお風呂で使う固形のものというぐらいの認識でした。なので、『せっけんを使ってる?』という質問が何を意味しているのかさえも分からずにいました。『せっけんは、今から5000年位前からローマで使われ、今も使い続けられている、人にも環境にも優しい洗浄剤。使ってみない?』そんな先輩組合員との会話から、私とせっけんの関係は始まりました。初めはなかなか使いこなせなかったけれど、少しアドバイスをもらえば、お洗濯も上手にできるようになりました。また、熱を加えるとより洗浄力が上がるという特性を利用して、煮洗い・つけおき洗いなど上級テクニックも教えてもらいました。会議室においてあった茶渋で汚れた湯飲みが新品のようにきれいになったのを見たときの感動と、目の前で実演してくれた先輩組合員のドヤ顔は今でも忘れられません。

グリーンコープのせっけんは、組合員の声の形になり、リニューアルが繰り返され、より使いやすいものになっています。

現在我が家のお風呂には、せっけんシャンプー&リンスが常備され、ハミガキも食器洗いもお風呂掃除も、全部せっけん。せっけんは、なくてはならないものになりました。あの日の出会いに感謝!!です。

人にも環境にもやさしいせっけん。使えば使うほど、その魅力に取りつかれますよ♪



地区委員会

グリーンコープに加入したての頃、カタログを見て他のお店の商品と何が違うのかわからず、それを知りたくて地区委員会に入りました。自分たちで行事を企画したり、参加した学習会を通して、商品のこだわりや良さをたくさん知ることができ、今では私たち家族にとって、なくてはならないものとなっています。また、「グリーンコープが好き」で集まっている仲間とは、食の安全や原発の話なども気負いなく安心して話せたことも良い思い出です。

価値観が似ていて、どんな話でもできる仲間、意見が違っても失敗しても温かく見守ってくれる仲間、そんな仲間が集う地区委員会です。組合員同士の“良い出会いの場”となっています♪



脱原発

グリーンコープの活動組合員になり、“脱原発”について学ぶ機会がたくさんありました。その中でも、多くの脱原発裁判に関わってきた河合弘之弁護士が監督&出演した「日本と原発」「日本と原発4年後」の上映会を行なったことが思い出深いです。

その映画で、『原発とは何か?どれだけの人を分断しているのか?』を知りました。さらに最新作「日本と再生」では、世界は自然エネルギーに向かっているという希望がありました。『自然の力は日本に多くの力を与えてくれ、生まれ変わるチャンスを与えてくれている。これからの日本は世界と共に歩むのか、取り残されるのか?』映画の最後にこう問いかけられました。未来の子どもたちのために、私たち大人が正しいと思う『選択』をしなければならぬと思いました。



(Kプロジェクト提供)

グリーンコープひろしまで活躍する4つのワークスを紹介します♪

ワークスとは？

各々が運営主体となり事業を推進していく働き方です。雇い・雇われ、指示されたことを行なうという形式ではありません。「こんなことができたらいいな。」「こんなサービスがあったらいいな！」と願うことを誰かにしてもらおうのではなく、自分たちで起業していく働き方です。それぞれが、得意な分野で力を発揮して、やりがいのある働く場をつくり、それぞれの事情に合わせて働いています。現在、グリーンコープ圏内では、多くの種類のワークスが日々奮闘しています。GCひろしまには4つのワークスが立ち上がり、それぞれが主体的に働いています。

地域福祉を広げる…

労働協同組合グリーンコープ 在宅福祉ワークス・コレクティブほっとはぁーと

助け合いワークスでは「困った」を抱えた人の「介護、障がい福祉サービス、家事全般、託児」を“やさしい手”で心を込めたお手伝いをしています。2002年に『たすけあいワークスはぁーとネット』が立ち上がりました。その後、2005年に『たすけあいワークスめーぶるネット』設立。2008年に合併し、『たすけあいワークスほっとはぁーと』が誕生しました。2014年に名称変更し『労働協同組合グリーンコープ在宅福祉ワークス・コレクティブほっとはぁーと』となりました。

立ち上げのきっかけは？

日本の社会が、高齢化・少子化・核家族化が進む中、ものすごく困っているわけではないけれど、「少し困った人」が増えているように感じていました。例えば「ちょっと病院に行く間、赤ちゃんの面倒をみてほしい」「毎日忙しいので、家事を手伝ってほしい」そんな「少し困った」人を助けてあげられるようなお手伝いができないだろうかと思っていました。自分たちの得意なことが仕事にできれば楽しいかもしれない。そんな思いで集まったメンバーでワークスを立ち上げました。初めは家事支援や、グリーンコープの集団託児などから始まりました。その後、高齢化する社会情勢の中、介護保険事業にも参入し、今では、ふくしサービスセンター『はぁーとネット』『めーぶるネット』ティサービスセンター『夢＊グリーン』『楓＊グリーン』居宅支援事務所『ケアプランセンター広島』の5つの事業所ワークスになりました。また、『夢サロン』を運営し、地域に根ざした活動を行なっています。

どんなご苦労がありましたか？

“助け合いをおたがいさまの気持ちで”と始めた事業でしたが、当初はなかなか収益が上がりませんでした。初めは“気持ち”で頑張っていたのですが、報酬が少ないことを不安に感じ辞めていく人も出てきました。そんな中、ワークスを継続していくために何度も検討を繰り返し、2005年に介護保険事業に参入しました。

今までの一番の思い出は？

事業所が一つ一つ増えていくこと、それぞれの事業所の開所式は大切な思い出です。一番の思い出といえば、設立当初から数年間、運営に苦労したこと。毎日、がむしゃらに運営してきました。そんな時期を乗り越え、今もみんなと働くことができていますのは幸せなことだと思います。2017年には、ほっとはぁーと設立15周年のお祝い会を開催することができました。私たちは、ワークスという働き方を選んでいきます。ワークスの働き方とは、雇い・雇われるという関係ではなく、対等な関係で意見交換を行ないながら事業を運営していきます。様々な年代の人が豊かに関係しあい、互いに育ちあい、高め合うためにも仲間が大切です。そんな仲間とともに、この先も続けていければと思っています。

楓＊グリーンでのレクリエーションの様子



楓＊グリーン 外観



夢＊グリーン 外観



家計と暮らしの応援 一般社団法人グリーンワークス FP円縁

労働協同組合FP円縁は、暮らしの中の経済的な課題である「金銭教育」や「消費生活支援」を目的に活動しています。人と人の“縁”を結び、暮らしの中の“円”を大切に育み、丸く円を描きながら、地域に根ざした活動へと広げていきます。一人ひとりが大切にされ、誰もが安心して暮らせる街をつくり、子どもたちへ健やかな未来を手渡すために…。



立ち上げのきっかけは？

2008年5月にオールグリーンコープ（共同体の全単協）のファイナンシャルプランナーの資格を有する組合員9名で「家計と暮らしのワークス円縁」が誕生しました。2013年に「労働協同組合FP円縁」に、2015年に6つの労働協同組合で「一般社団法人グリーンワークス」を設立しました。

どんなご苦労がありましたか？

お金に関連することは幅広く、制度も変わることが多いので、ブラッシュアップがかかせません。自分自身が理解できても、学習会で伝える時、組合員の皆さんが理解できるように内容を組み立てることが必要です。そこが苦労かもしれません。参加された方から、わかった、参考になったとお声がけいただくと苦労も吹き飛びます！

今までの一番の思い出は？

家計簿クラブを初めて担当したサークルが3年を終了した際に、「ずっと家計簿クラブをやりたい」と言われたこと。一緒に学び、過ごした時間がとても貴重な時間でした。

子育て応援 ワークス・コレクティブ子どもキッチンひろば♡ゆめはっぴ

組合員対象の料理教室や子ども料理教室を担っています。

ゆめはっぴに入ったきっかけは？

- ・子どもと関わる活動をしていきたいと思いました。
- ・もともとは組合員活動として携わっていました。その後、料理教室の存続がワークスに託されることになり、話し合いを重ね、立ち上げました。

どんなご苦労がありましたか？

- ・ワークスになると全てのことを自分たちで決めてやることになり、本当に大変でした。
- ・メンバー全員、“ワークスがどういうものか”が分からないところからのスタートでした。

今までの一番の思い出は？

- ・子ども料理教室で参加してくれた子どもさんの“いい笑顔”に会えることです。
- ・アジの2枚おろしができたときに満足そうにお母さんに見せて、その後おいしそうに笑顔で食べているのを見るときです。



グリーンコープ商品を届ける… 労働協同組合 エバーぐい〜ん

組合員宅への商品の配達業務、組合員拡大業務等の運営を担っています。

立ち上げのきっかけは？

ひろしま20周年をきっかけに新しい事業で移動販売の提案があり、その延長線から新たな働き方「配送共同購入ワークス」を設立する事になりました。

どんなご苦労がありましたか？

設立に向けては、ワークス設立に意欲のある人の集まりではなく、対象者が限定的で「ワークス」の知識が全く無く、設立の意義に同意する者が少なかった為、勉強会と意見集約を重ね、気運を高める事に重きを置いたこと。

今までの一番の思い出は？

設立に向かってメンバーの気持ちが一つになり、ワークス設立を行うことができたこと。



かわらばん
4コママンガ
傑作集

組合員の皆さんに、
グリーンコープひろしまの
様子をお知らせしたいと
広報誌“グリーンかわらばん”を
年6回発行しています。
毎号、組合員による4コママン
ガも載せています。

2005年



2007年



2009年



わが家の
ほんちやって
十千ユラル生活

2012年



2015年



2017年

